

都合に合わせて診断可能

広運協／ナスバネット搭載車披露

5月の連休明けから稼働

【星野誠】広域運送事業協同組合（樋口恵一理事長）は三月二十八日、三重県伊賀市の中田商事（中田純一社長）で、インターネット適性診断システム（ナスバネット）を搭載した巡回車を披露した。

ナスバネット巡回車は

全国の組合員事業所で適性診断を行う目的で作られた。ワンボックス車にナスバネットのシステム

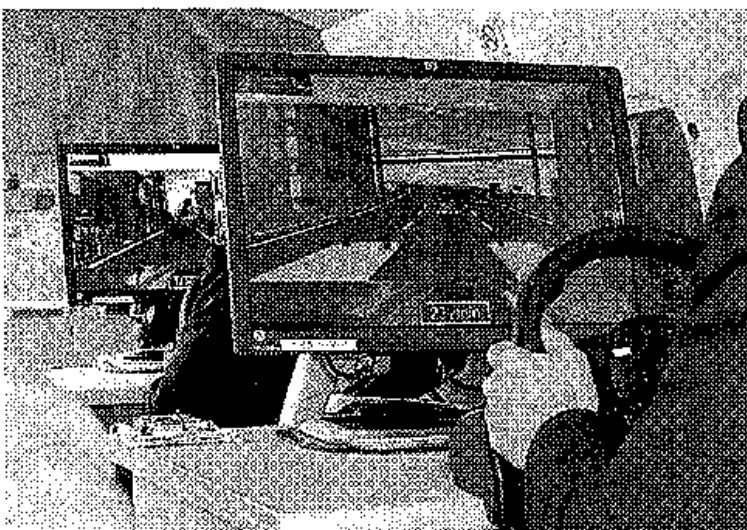
ード二本と百坪のLAN

（構内情報通信網）ケーブルを備える。

た上で、「三年に一度義務付けられている適性診断で、いかに受診漏れをなくすかが大事。巡回車なら事業所の都合に合わ

樋口理事長は「人身事故を起こした際の監査と行政処分が厳しくなつた。われわれ運送事業者にはより一層のコンプライアンス（法令順守）が求められる」と話した

同時に2人のドライバーが受診可能



を調整・確定する。五月の連休明けから本格稼働させる予定。

披露会場を提供した中田社長が巡回車でナスバネットを体験した。中田氏は「操作に慣れるまで少し時間がかかりそうだが、ゲーム感覚で楽しみながら診断が受けられる」と評価し、「遠方からは受けにくく大変だった。この巡回車を利用すれば、適性診断がより身近なものになる」と話した。

巡回車の利用料金は一日当たり一万円。各事業所の希望を聞いた上で組合事務局がスケジュール

を調整・確定する。五月の連休明けから本格稼働させる予定。

披露会場を提供した中田社長が巡回車でナスバネットを体験した。中田氏は「操作に慣れるまで少し時間がかかりそうだが、ゲーム感覚で楽しみながら診断が受けられる」と評価し、「遠方からは受けにくく大変だった。この巡回車を利用すれば、適性診断がより身近なものになる」と話した。

巡回車の利用料金は一日当たり一万円。各事業所の希望を聞いた上で組合事務局がスケジュール